Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

土浦全国花火競技大会

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋 1-2-6 金塚ビル 3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

2018年10月9日　12号

2018年9月25日　第4例会報告

地区 HP　地区行事予定

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．国歌斉唱
3．ロータリーソング斉唱
（奉仕の理想）
4．来賓紹介　稲野邉会長
5．会長挨拶　稲野邉会長
6．バナー贈呈　髙橋ガバナー
稲野邉会長
7．幹事報告　高 野 幹 事
8．ニコニコボックス発表　塚﨑副ＳＡＡ
9．出席状況報告　出席委員会
10．米山奨学生紹介　董然さん
11．委員会報告
12．卓　　話
第2820地区ガバナー　髙橋賢吾様
13．点　　鐘　稲野邉会長
14．ロータリーソング斉唱
（それでこそロータリー）

（司会進行　阿部ＳＡＡ）

本日のプログラム
稲本修一土浦ユネスコ協会会長と，藤田佑子副会長の卓話でございます。

次週のプログラム
10月16日(火)の例会は，塚原靖二会員より「健康卓話」を伺います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	78	7	85.71	2・9	8	5	91.21

【会長挨拶】

稲 野 邉　　穣　会長

本日は，我がクラブにおきまして最大のイベントでございますガバナー公式訪問です。

ＲＩ2820地区ガバナー髙橋賢吾様，第6分区ガバナー補佐増山栄様，地区幹事小倉克夫様，ロータリーの友地区代表委員小貫啓司様においで頂きました。

午前中は中川清土浦市長を表敬訪問いたしました。その際，ロータリー財団の地区補助金を活用しまして，国体会場となります水郷体育館にデジタル時計を寄贈致しまして，目録をガバナー同席のもと市長に贈呈してまいりました。その後，ホテルマロウド筑波に戻り，午前中の協議会を開きました。午前中の協議会は私が一番ドキドキしていましたが，ガバナーが，優しく南クラブの弱点を指摘して下さり，これからの南クラブの発展のために丁寧にご指導くださいました。

例会後は，クラブ協議会を開催し各委員会からの発表を行い，ガバナーより講評，ご指導をいただきます。さらに，クラブ協議会終了後，ローターアクト，インターアクト，そして，米山記念奨学生の董然君，青少年交換留学生のソフィアさんを交えての懇談会を行います。その後，5時30分より今日一日の労をねぎらうためガバナーご一行様を囲んでの歓迎会，懇親会，そして土浦南クラブ恒例のお月見懇親会を開催致します。

今日は長時間の日程となりますが，ますます力強く活気あふれる土浦南クラブになりますよう，会員の皆様と一緒に勉強していきたいと思いますので，髙橋ガバナー，宜しくお願い致します。

【バナー贈呈】

【委員会報告】

土浦薪能倶楽部

齊　田　克　史　会員

来週の火曜日10月2日に，ガバナー補佐増山様が会長となっています土浦薪能が亀城公園にて開催されます。クラブをはじめ皆様から多大なご協賛をいただき，ありがとうございます。無事に開催できるよう頑張っておりますので，どうぞ宜しくお願い致します。

【ガバナー卓話】

国際ロータリー第2820地区ガバナー　髙　橋　賢　吾　様

皆さん，こんにちは。

ただいまご紹介いただきました，本年度国際ロータリー第2820地区ガバナーを務めております髙橋賢吾と申します。今日は一日，南クラブの公式訪問ということですが，クラブに来ることを非常に楽しみにしておりました。今日は一日，大いにロータリーを語り合いたいなと思っておりますので，よろしくお願いいたします。

卓話に入る前に，稲野邉会長にこの鐘を紹介してと言っておいたのですが，すっかり忘れていますね。

日本にロータリークラブができて来年で100周年を迎えます。この鐘は，その100年をお祝いするため，今年からその気運を高めるよう東京ロータリークラブが作り，地区にプレゼントされたものです。これは非常に重いものですが，地区内55クラブに持ち歩いており各会長に説明していただいております。ここにプレートがあり，地区内55クラブすべての名前が刻んでおります。

まず，自己紹介をさせていただきます。

私は，会社が御前山精密株式会社と言いまして，むかし御前山という村がありそこに東京から移ってきました。学校の跡地です。工場を誘致し地元の人を雇用していただきたいということで，ただ同然で分けていただきました。私は東京葛飾の新小岩というところから来ました。非常に柄が悪い土地で，そこで27歳まで過ごしました。当時の御前山は非常に過疎地であり水戸から砂利道で１時間半かかり，とても住めないということで水戸の双葉台に住みました。

私の趣味は山登りです。大学時代に山を登っていましたが，仕事をしはじめてから登れなくなったのですが，50になり少し仕事に余裕ができて，再び山登りを始めるようになりました。日本には百名山というのがあり，山登りは百名山を目指すというのが定説となっていますが，百名山は終わりました。これで終わりかなと思ったら次は二百名山だと。これも終わりました。とうとう終わりかなと思ったら，次は三百名山だと。これも登りました。この三百名山というのは，皆さんご存じないかもしれませんが，半端なく異常な世界です。北海道から九州まで制覇し，海外の山を登り始めたら，ガバナーというご指名がありまして，それ以来山は登っていません。地区幹事から，山だけは登るな，というのがガバナーを受ける条件でした。

７月号から始まった「月信」の表紙は筑波山です。百名山の一つであり一番低い山です。でも茨城県に一つしかない有名な山で，歴史と伝統があるということで，百名山に選ばれています。これを第一発目に載せまして，次々と私の好きな百名山をご紹介していきます。北から南までシリーズで行きますので，楽しみにしていてください。裏にコメントを書いていますので，これも併せて読んでいただくと私の人柄がわかるかなと思っております。

それでは本題に入りたいと思います。

このＲＩテーマと地区方針ですが，RIが今どういう方向に進んでいるかということをわかりやすく説明したいと思います。それと，地区は今どういう問題を抱え，どのように地区の運営を進めていくかということも，わかりやすくお話を進めてまいりたいと思います。

今，３つの大きな問題を抱えています。

その中で，何とかしなければいけない一番大きな問題が，会員増強です。どこのクラブに行っても最初にお話しなければいけない問題となっています。なぜかと言いますと，２０年前には日本のロータリーのメンバーは13万人いましたが，現在９万人を割って87,000人です。33％減です。それほど減少しています。そして2820地区はどうかと言いますと，20年前は2,900人いたところ現在は1,950人。これも同じく33％減です。このままで日本のロータリーは存続できるのか？という話になっています。会員増強はロータリーの目的ではありませんが，これ

を真剣に考えないとこのままでは日本のロータリーはなくなってしまうと騒いでいます。そういうことで，いつも「会員増強」ということを言わざるを得なくなっており，こういう状況であるということを皆さんにもわかっていただきたいと思っています。

もう１つが，公共イメージの向上。これも各クラブにお願いしています。

今まで私たちが奉仕活動をしたことを対外的にＰＲしない。しないというか，私たちロータリアンの心にしまっておけと言われてきました。今はそうではないのです。私たちは日本国内，世界中で素晴らしい活動をしています。それをもっともっと，ロータリアンが頑張っているということをＰＲしましょうという流れになってきています。ロータリーマークをどんどん表に出しましょう。ロータリーがやっている事業だということをどんどんＰＲして，地域社会の人たち，行政と一緒になってさらに進化した奉仕活動をしていきましょう　というのが今の流れです。ぜひ，公共イメージの向上という言葉をクラブでもどんどん全面的に出して，活動していってもらいたいと思っています。

３つめが，中長期計画の策定。ロータリーでは戦略計画と言います。

クラブがこれから５年後，10 年後，どのようになりたいか，どのようなクラブになっているか想像していますか。これを大いに議論して方向性を定めていきましょう　というのが，中長期計画の策定であります。

今まで，ロータリーの単年度制の弊害 ･･･ 会長さんがいくら頑張ったって，たかが知れています。地区のガバナーがいくら声を大きくしてもできることは限られています。そうではなくて，長いスパンで考えて，これからのロータリーのあるべき姿を描いて，そこに向かって進んでいきましょうという話になっています。これが中長期計画の策定であります

今，私が説明した３つの大きな流れ，これを皆さまがたご理解していただきたいなと思っています。

さて，このテーマについて進めていきたいと思っております。

去年のイアン・ライズリーＲＩ会長のテーマが「ロータリーに変化をもたらす」です。ロータリアンは，今日より明日，今年より来年，少しずつでもいいから変わっていきましょう，そしてロータリーが地域社会，そして世界を変えていきましょうという考え方で去年１年間やってまいりました。

そして今年度バリー・ラシンＲＩ会長のテーマは「インスピレーションになろう」です。

去年の「ロータリーに変化をもたらす」という考え方は，ロータリアンの基本的な考えです。でも今年は，私たちが持っている素晴らしい倫理観，そして奉仕の精神，ロータリアンの素晴らしい意欲，こういうものを，インスピレーションを持って変えましょう ･･･ 変化をもたらすけれども，今年は，ロータリアンが持っているインスピレーションを発揮して変えていきましょうという話をしています。

インスピレーションというのは非常に難しく理解しにくい言葉です。辞書を引くと，「ひらめき，感化，意気込み」というのが出てきます。そして彼が言う「インスピレーションになろう」というのは，ロータリアンは感化を与える人，意欲を引き出す人，こういうロータリアンを目指しませんか，またロータリアンはそれができますよね，ということです。クラブの中で，また地域社会で，そして世界で，ロータリアンは感化を与える人になって奉仕活動を推進してまいりましょう　ということです。そして最終的に，私たちロータリアン一人ひとりが，変化の推進者としてこの地域，この社会を一緒に運営して少しずつ変えていき，ロータリーの存在感を少しでも前面的に出して活動してまいりましょう。これが今年の「インスピレーションになろう」の意味です。

インスピレーションなんてよくわからない，インスピレーションなんて言葉は難しくて何をやっていいかわからないと言いますが，私が説明した「インスピレーションになろう」の意味をご理解いただきまして，このクラブの活動に利用していただければありがたいなと思います。

また，バリー・ラシンＲＩ会長が常に語っていること･･･「ポリオ撲滅」です。
ポリオ撲滅，もう少しです。これは私たちが世界の人たちに約束した最優先事項です。もうすぐ出る「ロータリーの友 10 月号」を見てください。これにはＲＩ会長のメッセージにポリオについて書かれています。これについては皆さん，もう一度考えましょう。私たちのポリオ撲滅に対する今までの実績，それとこれからの課題，これをもう一度考えてみてくださいと会長は言っています。是非ご覧いただき，ポリオ撲滅について考えていかなければならないかと思っています。
次に，環境問題への取り組みです。
これも彼が初めて提唱しました。今までロータリーは環境問題にはあまり手を付けるなという流れでしたが，今では環境問題とロータリーの活動は切っても切れない関係だと言っています。これもＲＩ会長のメッセージの中に載っています。「環境は，６つの重点分野において深く関わっており，その関係は，気象変動の影響が明らかになるにつれて高まる一方です。環境問題を５つの重点分野と別ものとしてとらえる見方から，もう抜け出すべきです。」と明言しています。すなわち，これから私たちのロータリー活動に環境問題を組み入れた奉仕プロジェクトを展開していかなければならないよ，ということになるかと思います。私たちも，奉仕活動について環境問題を取り組んでいく準備をしていかなければいけないということです。
先程，例会前の協議の中でも言いましたが，ローターアクトクラブのロータリー賞，インターアクトクラブのロータリー賞，こういうのが今年初めてできました。このクラブはローターアクトクラブを提唱しています。インターアクトクラブも提唱しています。是非これに挑戦していただきたいと思います。各クラブでも，青少年の育成，青少年の活動にもっともっと力を入れて育て上げていきましょう，そういうシステムを作ってくださいというのがＲＩの方針です。
次に，ロータリーデーを開催する。
公共イメージの向上，これを成し遂げるために「ロータリアン，ローターアクター，インターアクターが地元市民の若い世代，そして他団体と一緒にロータリーデーを開催したら，世界でどれほど大きな影響がもたらされるかというものを想像してみてください。大胆な発想，インスピレーションでロータリーをアピールしましょう。」と書かれています。先程お話しましたように，もう内に秘める時代は終わりました。これからは，どんどん私たちの活動を前面に出していきましょう。そして，地域社会の人と一緒に活動して，ロータリーファミリーを作っていきましょうという流れになっています。そして，地区の方針として，充実した奉仕活動をしていきましょう。地域社会と共存共栄していく，ロータリーファミリーを拡大していく，そしてロータリーイメージを向上させる，そしてクラブの活性化に繋げましょうという私の方針であります。
その方針を実現するために，本年度は地区のスローガンとして「ロータリーの心と力を地域社会へ」と設定させていただきました。
ぜひ，今のＲＩ会長の「インスピレーションになろう」そしてＲＩが向かっている方向，そして地区の方針，地区のスローガンをご理解いただきまして，本年度の活動を皆様方と一緒に進めてまいりたいと思っておりますので，宜しくお願いしたいと思います。
それから，クラブサポートについてですが，クラブの柔軟性やマイロータリーの活用とか，チャレンジとか，そういう様々なクラブの活性化のために地区は協力を惜しみません。
続いて，公共イメージの向上につきましては，ロータリーデー，ホームページの刷新，ソーシャルネットワークの活用，これも後でクラブ協議会の中で詳しくお話しさせていただきます。こういう方向に，公共イメージの向上のために，地区としても何とか皆様方と一緒に推進していきたいということであります。
そして最後に，青少年の育成です。
いま問題なのは，インターアクターが高校を卒業するとロータリーからさよならします。そ

してローターアクターが30歳を超すとロータリーからさよならしてしまいます。私たちがせっかく育てた青少年が，その時期を過ぎるとみんなロータリーから離れていってしまう。これは私たちが育てた財産をすべて水に流しているのと同じです。これではいけない。私たちの宝をどうやって守っていくのかということで，ローターアクターの学友，ライラ学友，青少年学友，これを地区で作ろうと動いております。この流れをご理解いただきまして，このクラブはインターアクトクラブもローターアクトクラブも提唱していらっしゃるということで，是非お力をお借りしたいと思っております。そして，最終的にはそういった若い人たちと，また地域社会とネットワークを組んでロータリーファミリーを少しずつ拡げていきましょうよというストーリーを作っているということであります。

これで終わりですが，ガバナー専用車には，ロータリーのロゴ，地区のスローガンのステッカーが貼ってあります。この車で茨城県内55クラブ全部廻ります。これが公共イメージの基本です。単純なことで，こんなの誰でもできるよと思われるかもしれませんが，なかなか勇気がいります。ロータリーという言葉，文字，マーク，これを１人でも多くの人たちに知ってもらえればそれでOKという単純な発想でありますけれども，是非私たちの素晴らしい活動を積極的に遠慮せずにＰＲしていこうではありませんか。

最後に，皆様にプレゼントを持ってきました。あまり期待しないでください。ロータリークラブのステッカーです。これも皆様の車の後ろに貼っていただけませんか。強制的に貼れとは言いませんが，是非この公共イメージの向上という流れをご理解いただいて貼っていただければと思います。これ県内で2000台貼って走っていると考えたらシビレるでしょう。これを皆様にプレゼントして，私の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

ガバナー歓迎会並びにお月見懇親会

【会長挨拶】

稲野邉　穣　会長

高橋ガバナー，増山ガバナー補佐，また地区分区の役員の皆様，今日は一日，ご指導，ご助言ありがとうございました。

高橋ガバナーにおかれましては，まだまだ公式訪問が続くことと思いますが，どうぞお体に気をつけて，今後もロータリークラブのため，地区のためにご活躍していただきたいと思います。私たち土浦南クラブも今日のご指導を大切に受け止め，頑張って活動してまいります。

これから懇親会です。時間の許す限り楽しいひとときを過ごしていただければと思います。

本日は，長時間にわたり，ありがとうございました。

【歓迎の言葉】

片岡信彦　パストガバナー

高橋ガバナー，増山ガバナー補佐，今日は一日，本当にありがとうございました。

高橋ガバナーは頑固な人で，いろんなこと言いたい放題でございますが，本日は数々の提言とご指導を頂きありがとうございました。

少々弁解ではございますけど，今日のクラブ協議会で反論できなかったのですが，例えば社会奉仕で何をやっていますかということでしたが，国際ロータリー100周年で，りんりんロードに100本の桜を植えました。約500ｍあります。その契約が土木事務所であり，ずっと管理をしなければいけないということでした。枯れたら植え直し，虫が付けば殺虫処理をやると，この南クラブはこれまでに100万円以上のお金を費やしております。そういうことで，会員が

参加し，ロータアクト，インターアクトが一緒になって共同作業をしておりました。決して，ただ道路を歩いていたわけではありません。

ロータリー財団についても，グローバル補助金を使いなさいというような話がありましたが，一昨年度は，バンコク盲学校支援プロジェクトを通し点字機械を寄付しまして溝口会長をはじめ，幹事，ＳＡＡ，私と４人でその学校に行って立ち会い，贈呈式に出席しました。

昨年度もバンコク郊外の病院に，グローバル補助金を使い，腎臓手術に使用する器具を寄贈し，今回は７月のパツムワンロータリークラブの会長就任式で引渡式を行い，その写真を週報に載せていただきましたが，それもクラブ報告書に載っていません。一昨年も昨年も，ニコニコ BOX から 1000 ドル寄付していますので会員の皆さまは知っているはずでございます。今後そのようなことを披露して，土浦南クラブがますます発展すればいいなということで，ガバナーとガバナー補佐の歓迎の言葉に代えさせていただきます。

ガバナー公式訪問スナップ

地区補助金によるデジタル時計の目録贈呈

中川市長表敬訪問

ガバナー持参の鐘で点鐘

ガバナー卓話

クラブ協議会

IAC・RAC との懇談会

ガバナーを囲んでお月見懇親会

片岡ＰＧ歓迎挨拶

ガバナー挨拶

溝口直前会長 乾杯

本橋会員自作の帆引き船贈呈

土浦南 RAC 紹介

米山奨学生 薫然君
交換留学生 ソフィアさん

お土産贈呈

清野副会長中締め

10 年未満皆出席表彰

20 年未満皆出席表彰

30 年未満皆出席表彰

30 ～ 44 年未満皆出席表彰

44 年皆出席海田恭敬会員

小城親睦委員長締め

手に手つないで